

会 議 議 事 録

会 議 名	平成 26 年度 第 2 回 教育課程編成委員会	専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 東京工科専門学校品川校
開催日時	平成 26 年 10 月 8 日 (水) 15:00 ~ 17:30	
会 場	東京テクニカルカレッジ・1004 教室	
参 加 者	委員	17 人 (参加者) 佐藤 康夫、小林 完、竹尾和也 佐々木 洋文、齋藤 昭男、沼田 勇、 大石 安孝、小野 宗憲、谷川 潮、田村 智、宮谷 真樹、 甲斐 俊和、山口 泰之、武井 和則、澁谷 健 (欠席者) 油井 文江、遠藤 新一
	事務局	2 人 開田 実、金澤 晃男
会 議 録	<p>●出席者・配布資料確認</p> <p>●開会挨拶(佐藤)</p> <p>・職業実践専門課程関連報告 認定校取消の件、JAMCA 会員校認定状況、JAMCA の取り組みの報告がなされた。 また、厚生労働省の教育訓練給付金の認定された事についての報告が行われた。</p> <p>●議事</p> <p>①議長 (佐藤)、書記 (金澤) の選出</p> <p>②H26 自己点検自己評価の進捗に関して</p> <p>・第 1 回学校関係者評価委員会報告 7 月 2 日に各校で行われた第 1 回学校関係者評価委員会の報告が行われた。</p> <p>審議事項</p> <p>①前回議事録の確認 (開田) 資料 A を基に前回議事録の確認が行われた。 全員一致で承認</p> <p>②平成 26 年度の取り組み進捗状況に関して (山口) (前回指摘事項と取組の進捗状況) 資料 B を基に平成 26 年度の取り組み状況の説明が行われた。</p> <p>・実践力評価委員会の取り組みに関して 各校に設置した「実践力評価委員会」における第 1 回実践力評価委員会での審議内容の説明が行われた。(資料 C)</p>	

中野校（山口）

安全作業・基本作業・整理整頓に関して内容を精査し、「実習作業に関する基本項目」を作成する。また、実技試験のチェックが甘くなっている可能性があり、検討が必要。

世田谷校（澁谷）

ノギスに関しては、使用頻度が高い割に十分な仕上がりになっていない。マイクロメータに関しては整備現場でどの程度のレベルが要求されているか判断できていない。企業の方の意見を聞きたい。サーキットテスタは、電気・電子の概念不足の為、判定が出来ていない。また、「安全・基礎作業」に関しては、東京工科グループのスタンダードが無い。

品川校（武井）

4輪と2輪の安全管理でずれている部分がある。安全・基礎についての基本項目（案）を作成する。

・HV修了証に関して

授業終了後、就職活動に間に合うように学務室にて発行する。

・コンプライアンス・顧客対応能力向上に関して

表記項目に関しては、ソーシャル検定が内容を網羅している。試験対策としてではなく、授業として取り組んでいる。（資料D）

・教員FDに関して（開田）

外部研修実施一覧を基に今年度の実施状況の説明がなされた。

質疑

佐々木：進捗管理に関して表を作り良くわかる。いい施行を行っている。教員の技術力アップに関してトヨタ・日産の研修が無い。

トヨタ・日産等の主要メーカーで行っている教本・カリキュラム・資料等を入手し、東京工科独自の標準化を図ると良いのではないかと？

山口：トヨタ・日産等の資料を入手したいが、企業秘密の部分があり、入手することが出来ていない。

佐々木：JAMCA等の協会を使ったら可能ではないかと？

佐藤：企業から提供して頂く資料を元に、教員・学生に何を求めているのかを検討。

各社：資料を特定の学校に出すわけにはいかない。

武井：JAMCAの教科書委員会でも、メーカーからの提供が難しい。

斉藤：基本的な安全に関わる技術は展開できる。整備要領書に関しても外部販売している。それ以上の深い部分は、入社してからで構わない。

世の中に開示している技術情報は集められる。

佐々木：前回のビデオがこの問題の始まりである。教員とメーカーで指導している人との認識の乖離がある。

佐々木：メーカーの技術者に授業を見てもらい、評価してご意見を頂くのは如何かと？

谷川 : 整備の認可基準の届け出基準を再度見直し、周りの環境等を認識したうえで作業を見直す必要がある。

佐藤 : 就職先によって認定の基準がちがう事があるのではないかな?

山口 : 教員に様々な所を見せていきたい。

斉藤 : 安全衛生の分野で、規格が決まっている。公的な所がもっている共通の基本的な安全衛生を行うべきである。

沼田 : 整備工場は諸規定に基づいて運営している。そのような教育が必要。実作業に入る前に点検等安全衛生が必要。

佐藤 : 我々が見ていた部分は狭い。視野を広めて再度煮詰める。上記の意見を元に、煮詰め、次回報告をする。

全員一致で承認

③教育課程編成委員会会則の改訂について (小林)

会則の改訂に関して資料 F を元に提案された。

- ・ 第 3 条 2 項 委員の任期について 任期 1 年→2 年
- ・ 第 4 条 委員会の委員長

委員長 : 校長→東京工科自動車大学校校長

副委員長 : 世田谷校校長・品川校校長

全員一致で承認

教育課程編成委員会の進め方に関して

- ・ 次年度は 1 級課程・2 級課程の分科会で運営をする事で内容を具体化していきたい。(必要に応じて分科会を設ける事とする)

全員一致で承認された。

④その他 (竹尾)

③その他

佐々木 : 外国人留学生に対する特別カリキュラム・就職指導が必要になるのではないかな? 企業が安心して雇える留学生環境を作ってほしい。

竹尾 : 日本語のレベルが未だ低い。特別授業等対応が必要かと思われる。

日本で就職したい留学生が多い。企業で留学生の年齢制限はあるのかな?

何年か日本で働いて、将来は母国に帰りたいといった場合の年数?

宮谷 : 年齢・国籍を問わず優秀な方を採用したい。母国に戻る事になっても良い人材であれば採用する。

佐藤 : 企業様に入社する際に必要な日本語能力をサポートできていない。今後検討していく。

竹尾 : 女性の就職に関する企業の受入体制・要望。

佐々木 : 男性でもメカニックで一生通すのは難しい。業界全体で対応していく事。求める人材は、オールラウンドで行える人材。

竹尾　：ご意見を課題としていただき、今後検討していく。

●平成26年度、教育課程編成委員会終了宣言

以上

会議風景

